

第1号様式（第5条関係）

墨田区SDGs宣言書

墨田区長 宛

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

<宣言日> 令和8年9月11日

<更新日>

<変更日>

事業者・団体等名 株式会社 SORA IE TOKYO Room
 代 表 者 役職 : 代表取締役
 氏名 : 伊藤 弘一

記

事業者・団体等としての 2030年までのあるべき姿	「地域の不動産を、未来の資産へ。」 2030年には、 「建物を売り・買う・貸すだけの不動産会社ではなく、 「建物を守り、価値を高め、人が住み続けられる地域をつくる会社」 になっていることを目指します。
------------------------------	--

・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）											
☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒
☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒
☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒	☐	☒

・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。 私たちは、賃貸・売買・リフォーム・買取再販・管理・宿泊事業を通じて、不動産の価値を高めるだけでなく、地域社会と環境の持続的な発展に貢献します。 空き家や遊休不動産の再生、既存住宅の長寿命化、省エネルギー化を推進し、「壊して建て替える」だけではない、資源を大切にしたい不動産活用を実践します。 また、高齢者・子育て世帯・外国人など、多様な人々が安心して暮らせる住環境を提供するとともに、地域の工務店・職人・事業者との連携を通じて、地域経済の活性化にも取り組みます。 宿泊事業においても、空き家や遊休不動産を地域の観光資源として再生し、地域への人の流れと経済循環を生み出します。 2030年に向けて、私たちは「不動産を売る・買う・貸す」だけではなく、地域の資産を守り、再生し、次の世代へつなぐことで、持続可能で住み続けられるまちづくりに貢献していきます。
--

SDGs 達成に向けた特徴的な活動	空き家再生 眠っている不動産を、地域の資産へ 不動産の長寿命化 壊すのではなく、直して長く使う 地域経済の循環 地域の不動産から、地域の仕事と未来をつくる ・空き家再生プロジェクト・100年使える建物を目指す・住まいの困りごと相談窓口 ・不動産の地域循環モデル・地域の不動産を次世代へつなぐ活動
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	地域密着型不動産会社として、空き家・遊休不動産の再活用30件、リフォーム60件、省エネ改修30件、地域事業者20社との連携、住まい相談150件を目標とします。 また、廃棄物10%削減を進め、地域の資産価値向上と持続可能なまちづくりに貢献します。
業 種	不動産業、物品賃貸業
所 在 地	〒131-0046 東京都墨田区京島1-1-1イーストコア曳舟一番館104
事業所数（本社が提出する場合のみ）	3 事業所
従業員（構成員）数	20 名 （うち外国人 ____ 名）
U R L	
区HPへのリンク可否	はい
SDGs 宣言証の発行	希望する

・ 対象要件に関し、該当するすべての欄に✓してください。	
✓ 欄	対 象 要 件
☒	関係法令等に違反していない。
☒	公序良俗に反していない。
☒	暴力団及び暴力団員、暴力団の構成員と密接な関係を有していない。
※： ☒ がついていない箇所がある場合、対象要件に該当しないため、宣言書を受理することができません。	

・ 提出書類	
墨田区SDGs 宣言書	本紙
そのほか活動内容が分かるもの	必要であれば添付すること

※宣言書の内容は担当者以外、原則、区のウェブサイト等で公開します。